

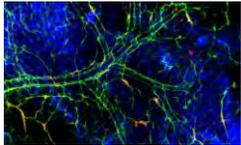
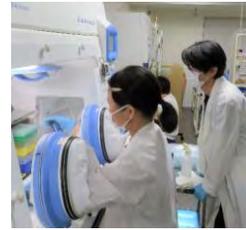
研究

免疫アレルギー疾患制御への3本の矢
によって新たな疾患治療法の確立を目指しています
一緒に未知なる冒険の扉を開こう



1. 新たに発見した粘膜保護因子の活用

臓器連関による粘膜保護機構の活用
様々な疾患誘起腸内細菌の同定と制御



免疫アレルギー疾患の革新的治療法の開発へ

2. 新規線維化治療薬の開発

慢性炎症に関わる「免疫-神経-間葉系」
相互作用を標的とした新規疾患治療法の開発

3. アレルギー細胞機能切り替え スイッチの探索

アレルギーを起こす細胞から治す細胞に

教育

自分の力で論文を書いたり学会で発表
したい学生さんは、当研究室が全力で
サポートします。
カルフォルニア大学などの海外研究留
学を支援しています。

学生募集中

進学相談は下記に連絡ください。
倉島洋介 Yosuke Kurashima
連絡先: yosukek@chiba-u.jp
<http://m.chiba-u.jp/class/innovativemed/index.html>

最近の研究業績

- ・ 粘膜保護因子
- ・ 線維化
- ・ アレルギー

- 2024
Seminars in immunopathology 2024
- 2023
NPJ vaccines 2023
Trends in molecular medicine 2023
Frontiers in immunology 2023
Respiratory investigation 2023
Allergy 2023
- 2022
European journal of immunology 2022
Proc Natl Acad Sci USA 2022
Frontiers in Immunology 2022
Allergology international 2022
Allergy 2022
Scientific Reports 2022
- 2021
Nature Communications 2021
Cells 2021
Mucosal immunology 2021
- その他の主な業績
Sci Trans Med 2018
Anne Rev Immunol 2017
Immunity 2014
Nature Communications 2012

